

中郷区地域協議会だより

第67号(令和6年度第3号)

地域協議会の活動は上越市ホームページで閲覧できます。



発行日:令和7年3月25日
発行:中郷区地域協議会
編集:地域協議会だより
編集委員会
(中郷区総合事務所)
TEL:0255-74-2411

令和6年度の活動、中郷区地域協議会活動報告会を振り返って

令和6年4月、地域協議会委員の改選が行われ、新しいメンバーで一年間活動してきました。新しい委員と話をしていると、新たな野望ややる気を感じていました。住み慣れた地域が今よりももっと住みやすく、この先も住民の皆様が不安を感じないようにと、まずは令和4年度に行った中郷区住民アンケートの結果を基に自主的審議を充実させようと話し合いをしてきました。新たな委員を含め中郷区地域協議会委員の大半が区内の活動団体の核となる人材です。そのため、机上の議論をスピード感を持って具現化できていると思います。そこが中郷区地域協議会の醍醐味であり、また、地域協議会の役割の1つでもある行政との協働の要という視点でも、まさに三位一体になっている表れだと感じています。具現化の1つとして、「中郷コミュニティバス さくら号」は、長年地域協議会が中郷区の公共交通を課題として捉え、自主的審議を重ねてきた内容を基に、いよいよ今春、中郷区まちづくり振興会によって運行されます。地域協議会もこの事業に出来るだけ寄り添いながら、次の課題にも目を向けていく必要性を感じています。

3月1日④に行った中郷区地域協議会活動報告会では、各町内会の皆様、団体、また区外からも大勢参加していただき、先述の中郷区地域協議会の醍醐味を感じていただいたことと思います。第2部の意見交換会では、様々な意見が寄せられました。誰しも、胸に閉じ込めてる思いや地域愛はそれぞれです。懸命に生きていく姿、それを支える姿、一人一人が違って当然だと思います。地域協議会としては、出来るだけ多くの方が地域協議会にも目を向け、活動報告会に参加し、自分の声をあげていく、想いをつなぐ、そんな地域でありたいと思っています。活動報告会は一つの区切りではありますが、次年度も事業を見守り、サポートし、また、新たな自主的審議に向けて話し合いを進めていくことに精を出したいと思います。

中郷区地域協議会委員12名はこれからも一丸となり邁進していきます。住民自らが創るまちづくり、そこには様々な人たちが話し、声を出すことによって初めて動き出します。我々地域協議会委員も、一人一人その声に寄り添っていくことが出来るように頑張りたいと思います。是非、今後もご理解とご協力をお願いします。起承転結、次の一年に向けてもう動き始めています。共に頑張りましょう。

会長 竹内



地域協議会をぜひ傍聴してください。開催日時や場所など詳細は、中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ 地域振興班(☎74-2411)までお問い合わせください。

《裏面もご覧ください》

令和6年度の活動を振り返って ～新委員から～

委員になって私の考え方が変わりました。今までは、何かが変わるんだ、何か変わらないかなと感じるだけでしたが、何かを変えたいと考えるようになりました。子どものい～場所開設事業、居場所づくりの参考にと訪れた研修では、自分の子どもにも欲しかった事業だと思いました。



だからこそ、この中郷に、子どもたちにとっての居場所があるように、住みやすい中郷であるように、能動的に活動していきたいと感じた一年でした。

委員 尾崎

仕事柄出張が多く、現地での活動に参加出来ませんでしたでしたが、通信環境を準備して頂き、出張先からオンラインで会議に参加することが出来ました。

今年度協議を重ねてきた2つの事業のうち、「(仮称)さとまるバスの運行による検証事業」は、検証結果を踏まえ、4月から「さくら号」の運行が始まります。より一層移動手段に困っている人に寄り添った運行になるよう、まずは利用して頂き、忌憚のない意見を地域協議



会委員として承りたいと思っております。「子どものい～場所開設事業」は、頂いた意見を基に、子ども達にとって有意義な時間が過ごせる居場所となるよう、協議を行っていく所存です。

委員 鹿島

今年度は「子どものい～場所開設事業」「(仮称)さとまるバスの運行による検証事業」と地域協議会委員の先輩方が協議してきた事業が始まり、それに携わることができました。中郷区住民アンケートを基にしたこれらの事業が、かたちとなり、どのように住民の皆様の暮らしにフィットしていくか。見て、感じ



て、より良いものができるよう協議を続けていきます。中郷区地域協議会は若者の意見も聞き入れてくれる環境が整っています。来年度も多くの方々の声を聴き活動に取り組んでいく所存です。

委員 桐山

中郷区地域協議会の委員として活動に参加して1年が経ちます。活動の中で「子どものい～場所開設事業」「レゴブロックワークショップ」では、子どもたちの笑顔やコミュニケーション能力、創りあげていく力に、あらためて地域の宝だと感じました。また「さくら号」の運行は、運行開始後に新たな課題が発生する場面があると思



いますが、地域内での1つの移動手段として定着し活用されたら地域の活性化にも繋がるのではないかと思います。「継続は力なり」です。地域のための活動を、私なりに続けていければと思います。

委員 松岡

編集後記

3月に入りましたが、まだまだ寒い日が続いています。暖かい春が来るのはもう少し先のようなです。改選により新たな委員が加わり、気持ちも新たに活動してきました。地域協議会ではこれまで自主審議事項について協議を進め、内容と活動については、地域協議会だより第66号と活動報告会で報告させていただいてる通りです。令和6年度は検証を行い、令和7年度は進めて行く計画です。地域の皆様方、関係者の皆様の意見を伺いながらより良くするため取り組んでいきたいと思

委員 竹内